

IV 調査結果

～関係機関（管理者）調査～

IV. 調査結果 ～関係機関（管理者）調査～

1. 施設の基本的な事項について

① 施設の種類

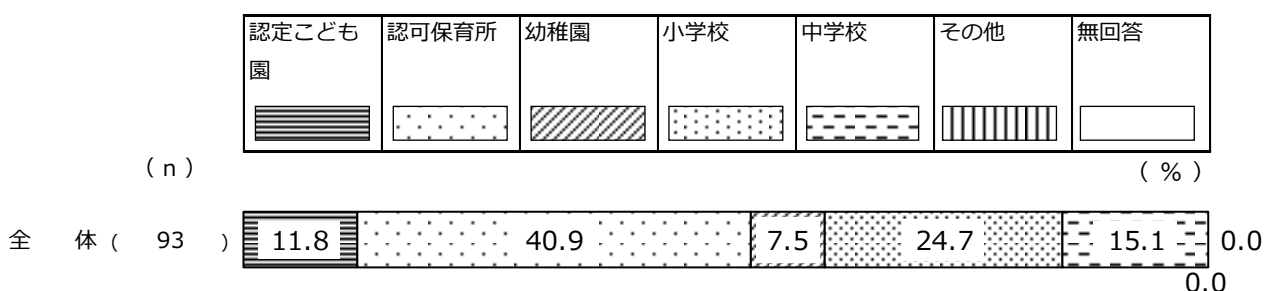
【全ての方にお伺いします】

問1. 貴施設の種類をお答えください。

(○は一つだけ)

施設の種類として、「認定こども園」が 11.8%、「認可保育所」が 40.9%、「幼稚園」が 7.5%、「小学校」が 24.7%、「中学校」が 15.1%であった。

【単純集計】



【クロス集計】

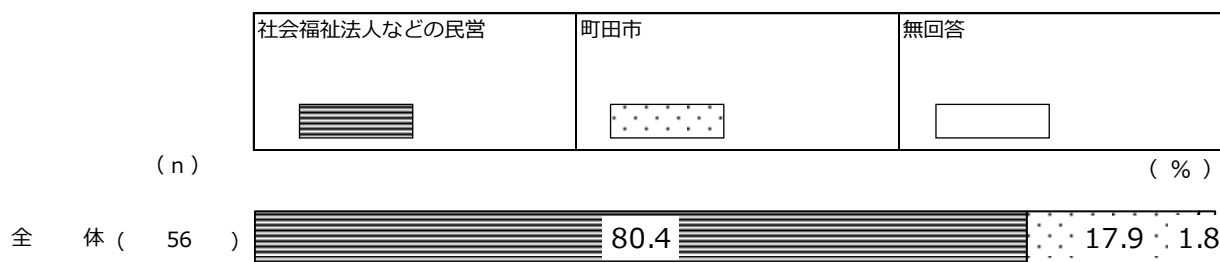
		回答数	認定こども園	認可保育所	幼稚園	小学校	中学校	その他	無回答
全体		93	11.8	40.9	7.5	24.7	15.1	0.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	56	19.6	67.9	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校	23	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	14	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	19.0	38.1	9.5	21.4	11.9	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	6.8	38.6	4.5	29.5	20.5	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	5	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

② 施設の運営主体

【問1で「1. 認定こども園」「2. 認可保育所」「3. 幼稚園」を選択した方にお伺いします】
 問2. 貴施設の運営主体について、あてはまるものを選択してください。（○は一つだけ）

認定こども園・認可保育所・幼稚園の運営主体として、「社会福祉法人などの民営」が80.4%、「町田市」が17.9%であった。

【単純集計】



【クロス集計】

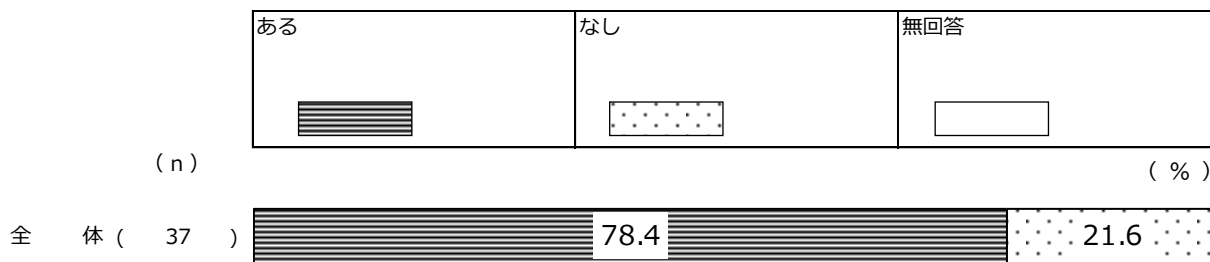
		回答数	社会福祉法人などの民営	町田市	無回答
全体		56	80.4	17.9	1.8
施設種別	保育園・幼稚園	56	80.4	17.9	1.8
	小学校	0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	28	71.4	25.0	3.6
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	22	86.4	13.6	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	4	100.0	0.0	0.0

③ 施設の特別支援学級・通級指導学級の有無

【問1で「4. 小学校」・「5. 中学校」を選択した方にお伺いします】
 問3-1. 貴施設の特別支援学級・通級指導学級（拠点校）の有無について、あてはまるものを選択してください。（○は一つだけ）

特別支援学級・通級指導学級の有無について「ある」が78.4%、「なし」が21.6%であった。
 施設種別・支援体制別でも、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	ある	なし	無回答
全体		37	78.4	21.6	0.0
施設種別	保育園・幼稚園	0	0.0	0.0	0.0
	小学校	23	78.3	21.7	0.0
	中学校	14	78.6	21.4	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	14	78.6	21.4	0.0
	支援を行っているのは一部の子もだけ	22	77.3	22.7	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	1	100.0	0.0	0.0

④ 施設の特別支援学級・通級指導学級の内容

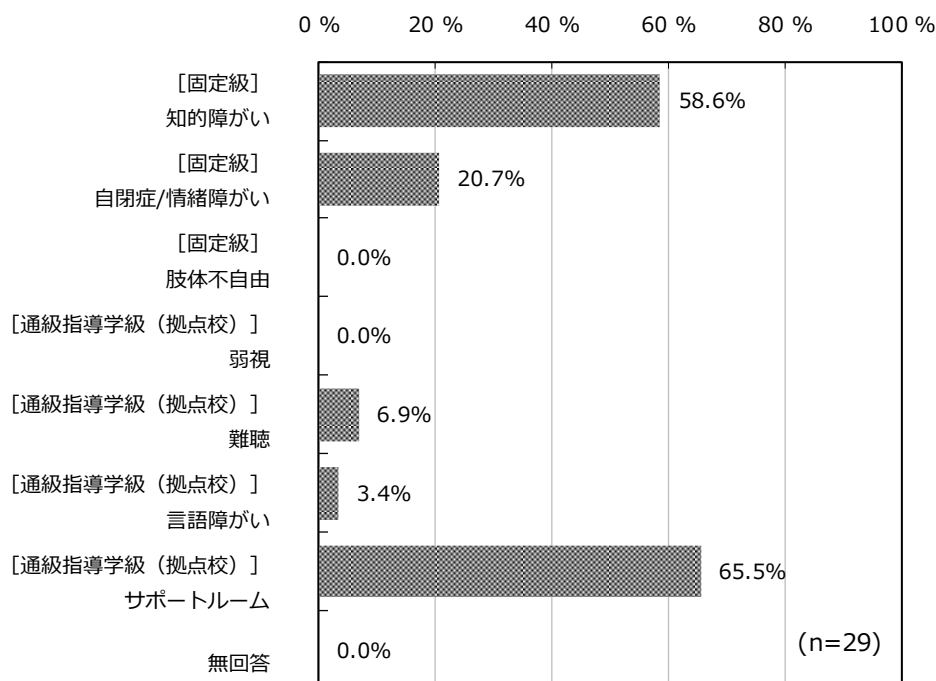
【問3で「1. ある」を選択した方にお伺いします】

問3-2. 貴施設の特別支援学級・通級指導学級（拠点校）の内容について、あてはまるものを選択してください。
（あてはまるもの全てに○）

特別支援学級・通級指導学級がある施設において、全体としては「固定級：知的障がい」が58.6%、「固定級：自閉症/情緒障がい」が20.7%、「通級指導学級：サポートルーム」が65.5%であった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「固定級：知的障がい」が高く、「通級指導学級：サポートルーム」が低かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	知的 障 が い 〔固 定 級〕	自 閉 症 / 情 緒 障 が い 〔固 定 級〕	肢 体 不 自 由 〔固 定 級〕	弱 視 〔通 級 指 導 学 級 （ 拠 点 校 ）〕	難 聴 〔通 級 指 導 学 級 （ 拠 点 校 ）〕	言 語 障 が い 〔通 級 指 導 学 級 （ 拠 点 校 ）〕	サ ポ ー ト ル ーム 〔通 級 指 導 学 級 （ 拠 点 校 ）〕	無 回 答
全体		29	58.6	20.7	0.0	0.0	6.9	3.4	65.5	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校	18	61.1	33.3	0.0	0.0	5.6	5.6	66.7	0.0
	中学校	11	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	63.6	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	11	72.7	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	45.5	0.0
	支援を行っているのは一部の子もだけ	17	47.1	17.6	0.0	0.0	5.9	5.9	76.5	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(%)

2. 施設における児童・生徒への対応状況

① 気になる子の有無

【改めて全ての方にお伺いします】

【なお、問1で「4. 小学校」・「5. 中学校」を選択した方は、問4～問12において通常の学級を想定してご回答ください】

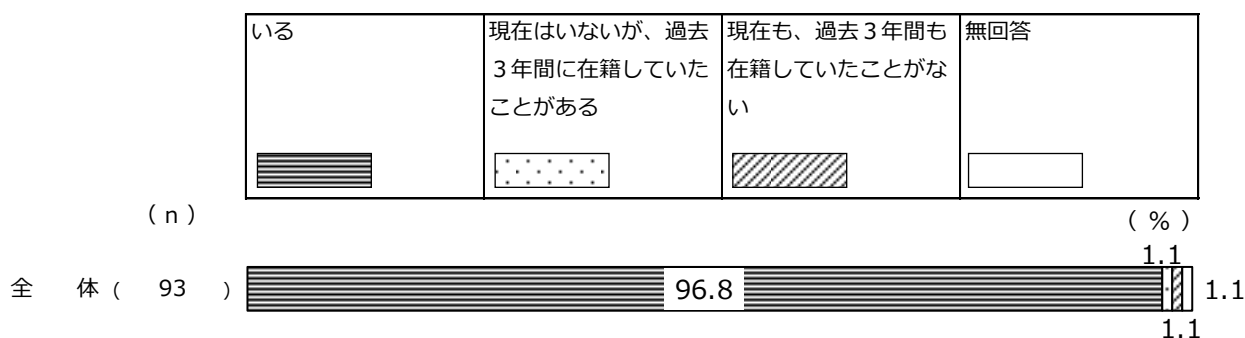
問4. 貴施設に、気になる子はいますか。

(○は一つだけ)

施設内に「気になる子」の有無について、全体として「いる」が96.8%、「現在はいないが、過去3年間に在籍していたことがある」「現在も、過去3年間も在籍していたことがない」がそれぞれ1.1%であった。

施設種別・支援体制別でも、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	いる	いたことがないが、過去3年間に在籍していた	が現在も、過去3年間も在籍していた	無回答
全体		93	96.8	1.1	1.1	1.1
施設種別	保育園・幼稚園	56	94.6	1.8	1.8	1.8
	小学校	23	100.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	14	100.0	0.0	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	95.2	2.4	2.4	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	100.0	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	100.0	0.0	0.0	0.0

② 気になる子に気づいたきっかけ

【問4で「1. いる」を選択した方にお伺いします】

問5. 気になる特徴に「気づいたきっかけ」として、あてはまるものをお選びください。

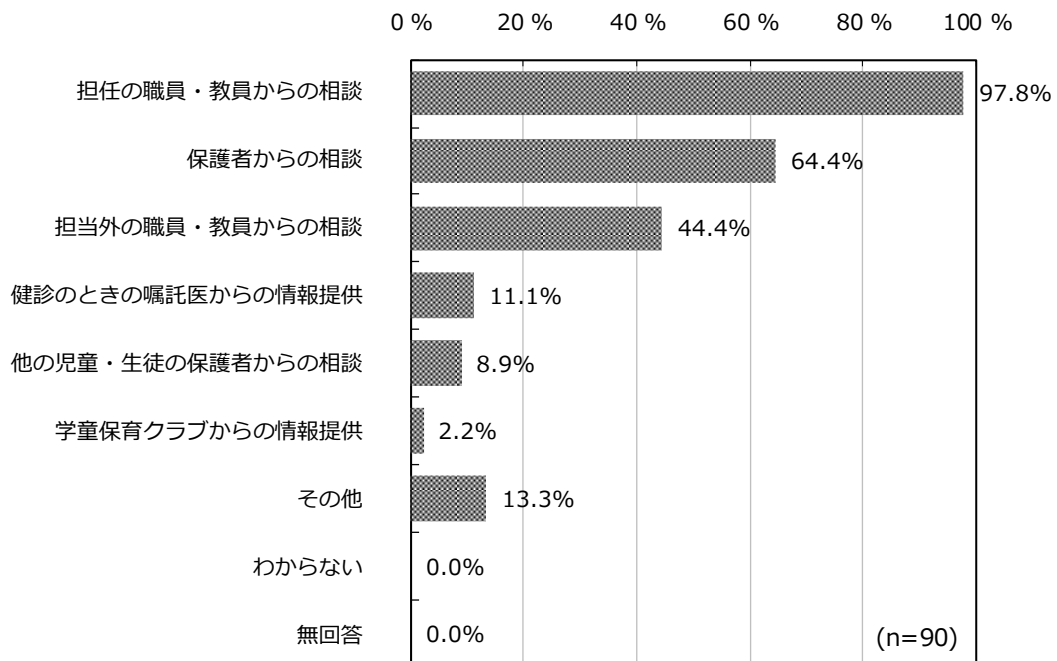
(あてはまるもの全てに○)

施設内に気になる子があり、気になる子に気づいたきっかけとして、全体としては「担任の職員・教員からの相談」が97.8%と最も高く、次いで「保護者からの相談」が64.4%であった。

施設種別でみると、『小学校』・『中学校』は『保育園・幼稚園』より「保護者からの相談」が気づいたきっかけであった割合が高かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「保護者からの相談」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	担任の職員・教員からの相談	保護者からの相談	担当外の職員・教員からの相談	健診のときの嘱託医からの情報提供	他の児童・生徒の保護者からの相談	学童保育クラブからの情報提供	その他	わからない	無回答
全体	90	97.8	64.4	44.4	11.1	8.9	2.2	13.3	0.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	53	98.1	56.6	41.5	15.1	5.7	0.0	9.4	0.0
	小学校	23	100.0	78.3	52.2	8.7	13.0	8.7	13.0	0.0
	中学校	14	92.9	71.4	42.9	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	40	100.0	72.5	47.5	7.5	15.0	2.5	12.5	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	95.5	59.1	43.2	13.6	4.5	2.3	15.9	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	100.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

③ 気になる子に対する支援体制

【改めて全ての方にお伺いします】

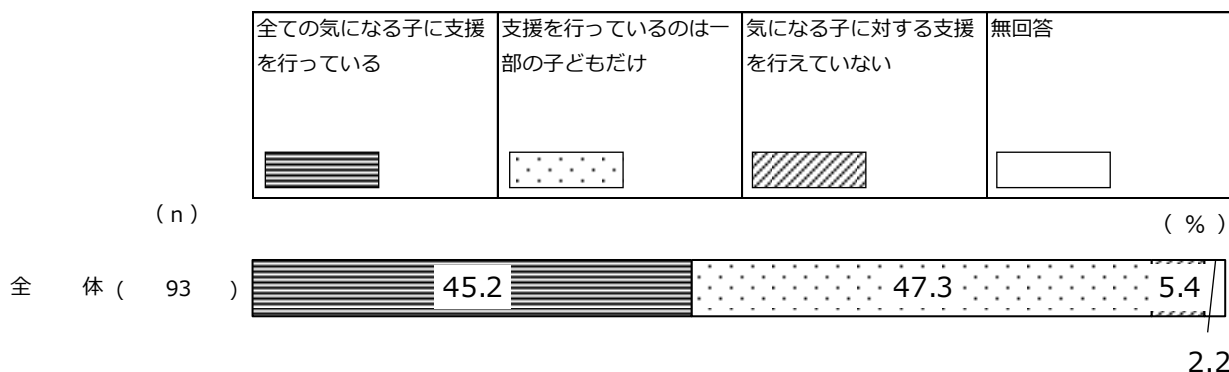
問6. 気になる子に対する貴施設の支援体制についてあてはまるものをお選びください。

(○は一つだけ)

気になる子に対する支援体制において、全体としては「全ての気になる子に支援を行っている」が45.2%、「支援を行っているのは一部の子どもだけ」が47.3%、「気になる子に対する支援を行っていない」が5.4%であった。

施設種別でみると、『保育園・幼稚園』から『中学校』になるにつれて、「全ての気になる子に支援を行っている」の割合が低かった。

【単純集計】



【クロス集計】

施設種別	支援体制	回答数	全ての気になる子に支援を行っている (%)	支援を行っているのは一部の子どもだけ (%)	気になる子に対する支援を行っていない (%)	無回答 (%)
全体		93	45.2	47.3	5.4	2.2
施設種別	保育園・幼稚園	56	50.0	39.3	7.1	3.6
	小学校	23	39.1	56.5	4.3	0.0
	中学校	14	35.7	64.3	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	100.0	0.0	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	0.0	100.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	0.0	100.0	0.0

④ 支援内容

【問6で「1」「2」（支援を行っている）を選択した方にお伺いします】

問7. 行っている支援内容について、あてはまるものをお選びください。

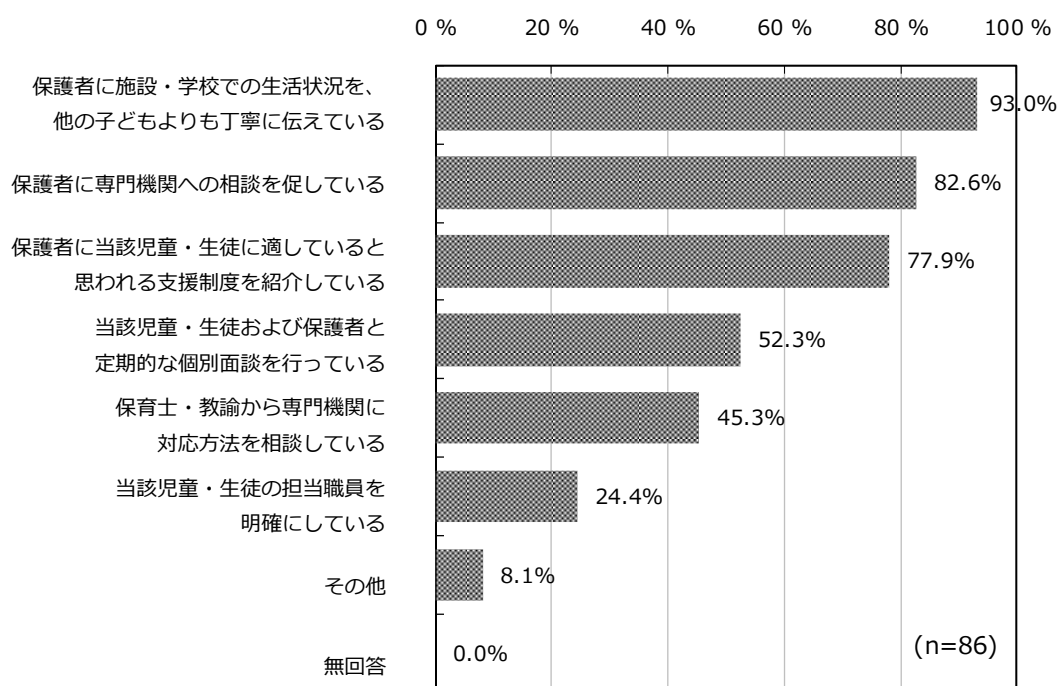
（あてはまるもの全てに○）

支援を行っている施設の支援内容について、全体としては「保護者に施設・学校での生活状況を、他の子どもよりも丁寧に伝えている」が93.0%と最も高く、次いで「保護者に専門機関への相談を促している」が82.6%であった。

施設種別でみると、『中学校』は『保育園・幼稚園』『小学校』よりも「当該児童・生徒および保護者と定期的な個別面談を行っている」「保育士・教諭から専門機関に対応方法を相談している」の割合が低かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも、「当該児童・生徒および保護者と定期的な個別面談を行っている」「保育士・教諭から専門機関に対応方法を相談している」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	保護者に施設・学校での生活状況を、他の	保護者に専門機関への相談を促している	思われる支援制度を紹介している	個別面談を行っている	当該児童・生徒および保護者と定期的な	相談している	保育士・教諭から専門機関に対応方法を	いる	当該児童・生徒の担当職員を明確にして	その他	無回答
全体		86	93.0	82.6	77.9	52.3	45.3	24.4	8.1	0.0	(%)		
施設 種別	保育園・幼稚園	50	92.0	80.0	74.0	54.0	62.0	24.0	4.0	0.0			
	小学校	22	100.0	90.9	86.4	59.1	31.8	22.7	9.1	0.0			
	中学校	14	85.7	78.6	78.6	35.7	7.1	28.6	21.4	0.0			
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	92.9	85.7	83.3	64.3	59.5	26.2	9.5	0.0			
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	93.2	79.5	72.7	40.9	31.8	22.7	6.8	0.0			
	気になる子に対する支援を行えていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

⑤ 支援を行えない理由

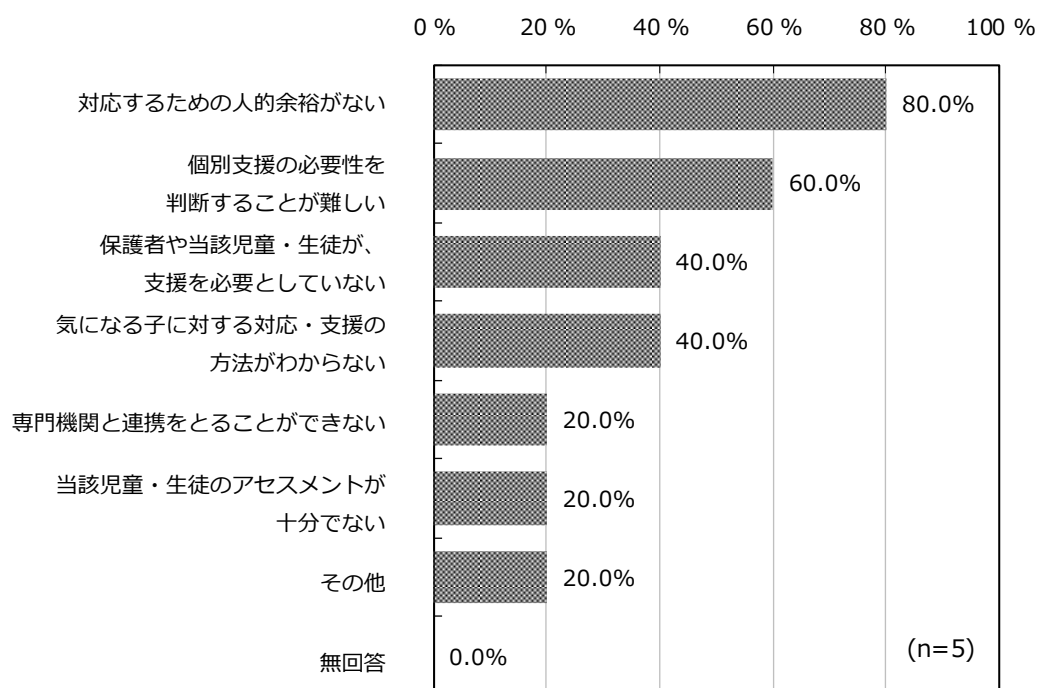
【問6で「3」（支援を行えていない）を選択した方にお伺いします】

問8. 支援を行えていない理由について、あてはまるものをお選びください。

（あてはまるもの全てに○）

支援を行えていない施設の行えない理由として、「対応するための人的余裕がない」が80.0%と最も高く、次いで「個別支援の必要性を判断することが難しい」が60.0%であった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	対 応 す る た め の 人 的 余 裕 が な い	い 個 別 支 援 の 必 要 性 を 判 断 す る こ と が 難 し	保 護 者 や 当 該 児 童 ・ 生 徒 が 、 支 援 を 必 要	わ か ら な い 気 に な る 子 に 対 す る 対 応 ・ 支 援 の 方 法 が	専 門 機 関 と 連 携 を と る こ と が で き な い	な い 当 該 児 童 ・ 生 徒 の ア セ ス メ ン ト が 十 分 で	そ の 他	無 回 答
全体		5	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	4	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	小学校	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子もだけ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	5	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0

(%)

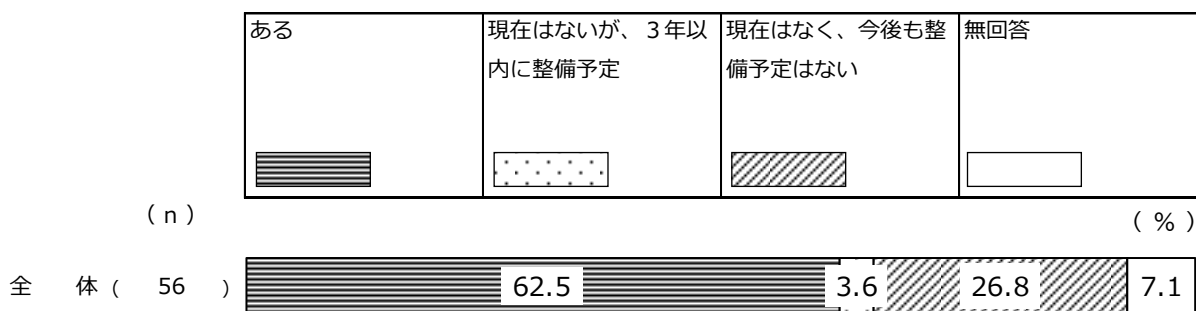
⑥ 障害者手帳等を持つ児童の受け入れ体制の有無

【問1で「1. 認定こども園」「2. 認可保育所」「3. 幼稚園」を選択した方にお伺いします】
 問9. 貴施設では、障害者手帳等を持っている児童を受け入れる体制がありますか。
 (○は一つだけ)

『保育園・幼稚園』における障害者手帳等を持つ児童の受け入れ体制は、「ある」が 62.5%、「現在はないが、3年以内に整備予定」が 3.6%、「現在はなく、今後も整備予定はない」が 26.8%であった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「ある」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	あ る	現 在 は な い が 、 3 年 以 内 に 整 備 予 定	現 在 は な く 、 今 後 も 整 備 予 定 は な い	無 回 答
全体		56	62.5	3.6	26.8	7.1 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	62.5	3.6	26.8	7.1
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	28	67.9	0.0	32.1	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	22	59.1	9.1	18.2	13.6
	気になる子に対する支援を行えていない	4	50.0	0.0	50.0	0.0

⑦ 障害者手帳等を持つ児童を受け入れる際の課題

【改めて全ての方にお伺いします】

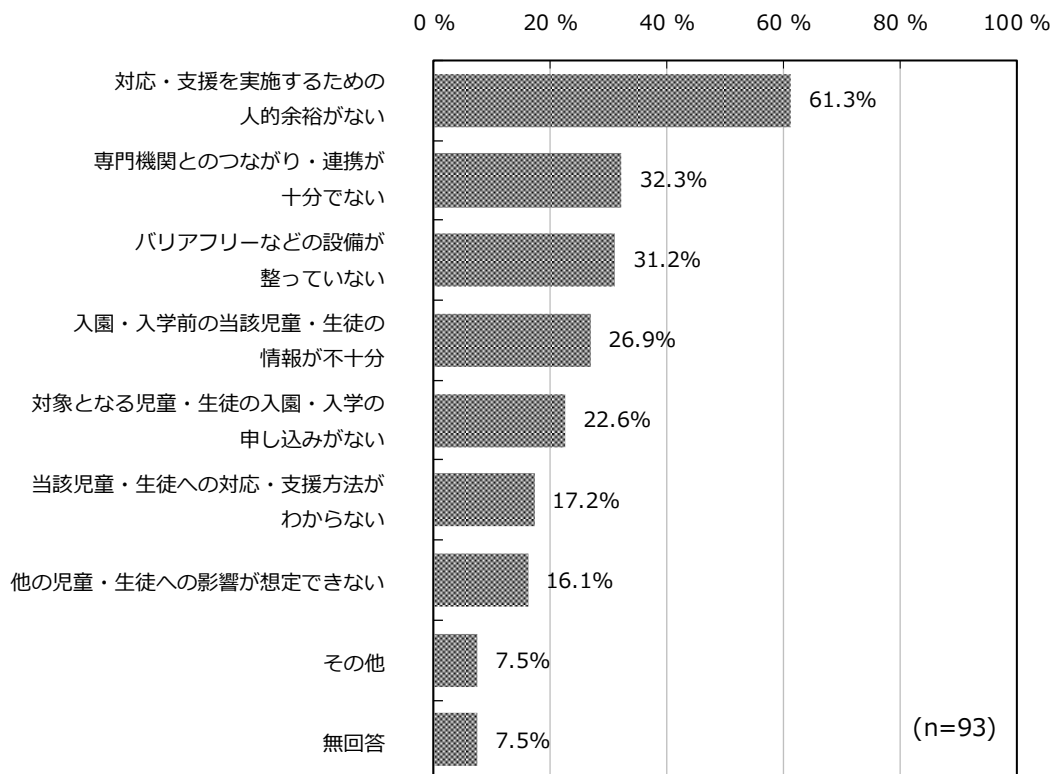
問 10. 障害者手帳を持っている児童・生徒を受け入れるにあたっての課題として、あてはまるものをお選びください。
(あてはまるもの全てに○)

障害者手帳等を持つ児童を受け入れる際の課題において、全体としては「対応・支援を実施するための人的余裕がない」が 61.3%と最も高く、次いで「専門機関とのつながり・連携が十分でない」が 32.3%であった。

施設種別でみると、『小学校』では他の種別よりも「専門機関とのつながり・連携が十分でない」・「バリアフリーなどの設備が整っていない」が、『中学校』では他の種別よりも「対応・支援を実施するための人的余裕がない」の割合がそれぞれ高かった。

支援体制別でみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「専門機関とのつながり・連携が十分でない」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	ない	対応・支援を実施するための人的余裕が	い	専門機関とのつながり・連携が十分でない	バリアフリーなどの設備が整っていない	入園・入学前の当該児童・生徒の情報が	不十分	入園・入学の申し込みがない	対象となる児童・生徒の入園・入学の申し込みにくい	当該児童・生徒への対応・支援方法がわからない	他の児童・生徒への影響が想定できない	その他	無回答
全体	93	61.3	32.3	31.2	26.9	22.6	17.2	16.1	8.9	10.7	7.5	7.5	(%)	
施設種別	保育園・幼稚園	56	55.4	19.6	17.9	28.6	23.2	16.1	8.9	10.7	12.5			
	小学校	23	65.2	60.9	56.5	26.1	21.7	17.4	30.4	4.3	0.0			
	中学校	14	78.6	35.7	42.9	21.4	21.4	21.4	21.4	0.0	0.0			
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	59.5	21.4	33.3	23.8	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1			
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	61.4	38.6	31.8	27.3	18.2	20.5	20.5	9.1	6.8			
	気になる子に対する支援を行えていない	5	80.0	80.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0			

⑧ 発達障がいの診断を受けている児童・生徒の有無

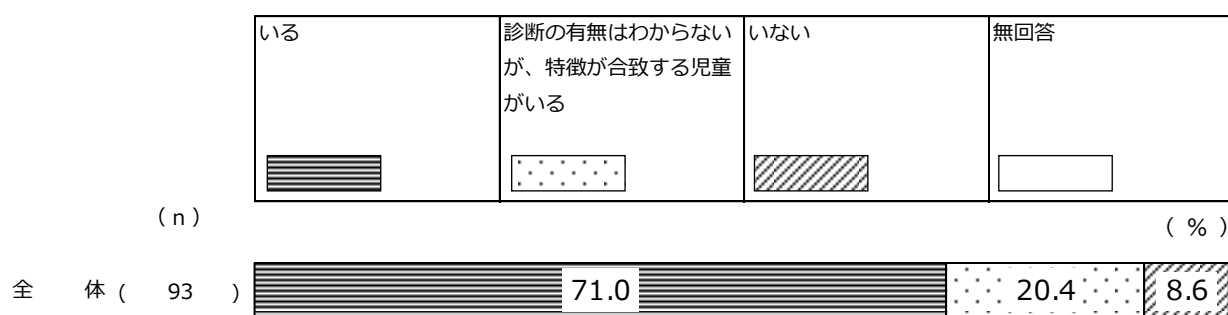
問 11. 貴施設には、発達障がいの診断を受けている児童・生徒がいますか。 (○は一つだけ)

発達障がいの診断を受けている児童・生徒の有無について、全体としては「いる」が 71.0%、「診断の有無はわからないが、特徴が合致する児童がいる」が 20.4%、「いない」が 8.6%であった。

施設種別でみると、「いる」の割合が『小学校』は他の種別よりも高かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「いる」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	い る	診 断 の 有 無 が い る は わ か ら な い が 、 特 徴 が 合 致	い な い	無 回 答
全体		93	71.0	20.4	8.6	0.0 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	60.7	25.0	14.3	0.0
	小学校	23	95.7	4.3	0.0	0.0
	中学校	14	71.4	28.6	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	78.6	14.3	7.1	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	68.2	20.5	11.4	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	80.0	0.0	0.0

⑨ 3年間に入園・入学後に発達障がいの診断を受けた児童・生徒の有無

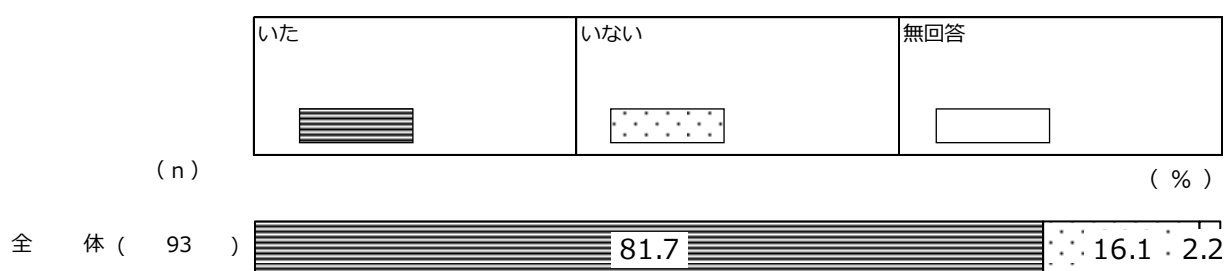
問 12. これまでの3年間に、入園・入学後に発達障がいの診断が出た児童・生徒はいましたか。
(○は一つだけ)

3年間に入園・入学後に発達障がいの診断を受けた児童・生徒において、全体としては「いる」が81.7%、「いない」が16.1%であった。

施設種別でみると、『保育園・幼稚園』から『中学校』になるにつれて、「いる」の割合が高かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「いる」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

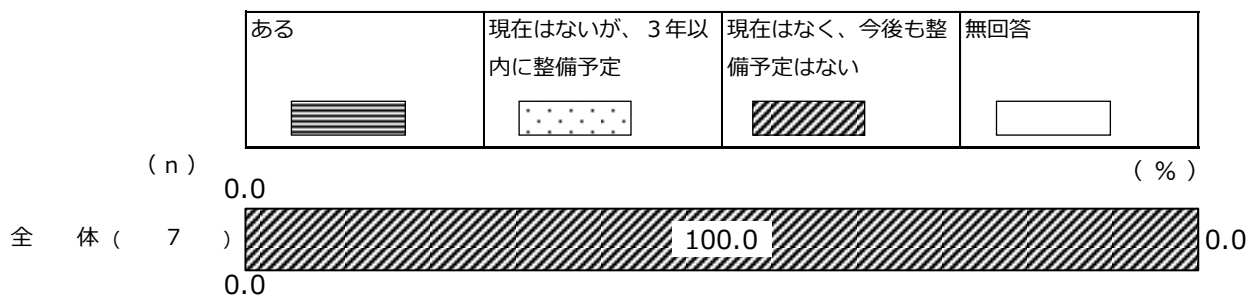
		回答数	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体		93	81.7	16.1	2.2
施設種別	保育園・幼稚園	56	76.8	21.4	1.8
	小学校	23	87.0	8.7	4.3
	中学校	14	92.9	7.1	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	88.1	11.9	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	77.3	18.2	4.5
	気になる子に対する支援を行えていない	5	60.0	40.0	0.0

⑩ 医療的ケアの必要な児童を受け入れる体制の有無

【問1で「3. 幼稚園」を選択した方（幼稚園に所属されている方）にお伺いします】
 問 13. 貴施設では、医療的ケアの必要な児童を受け入れる体制がありますか。（○は一つだけ）

幼稚園における医療的ケアの必要な児童を受け入れる体制の有無として、「現在はなく、今後も整備予定はない」が 100.0%であった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	ある	現在はなく、3年以内に整備予定	現在はなく、今後も整備予定はない	無回答
全体		7	0.0	0.0	100.0	0.0
施設種別	保育園・幼稚園	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑪ 医療的ケアの必要のある児童の入園の申し込みの有無

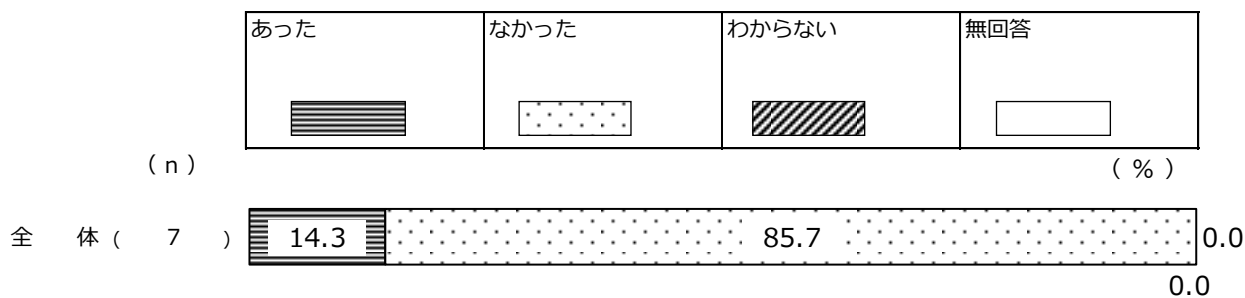
【問1で「3. 幼稚園」を選択した方（幼稚園に所属されている方）にお伺いします】

問 14. 過去3年間に、医療的ケアの必要のある児童の入園の申し込みがありましたか。

（○は一つだけ）

幼稚園における過去3年間の医療的ケアの必要な児童の入園申し込みは「あった」が14.3%、「なかった」が85.7%であった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	あ っ た	な か っ た	わ か ら な い	無 回 答
全体		7	14.3	85.7	0.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	7	14.3	85.7	0.0	0.0
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

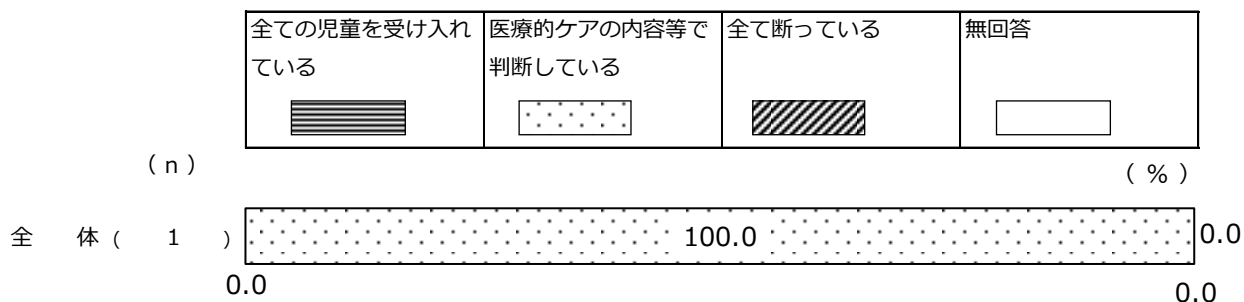
⑫ 申し込みへの対応

【問 14 で「1. あった」を選択した方にお伺いします】

問 15. 申し込みに対してどのように対応しましたか。 (○は一つだけ)

医療的ケアの必要のある児童の入園の申し込み対応として、「医療的ケアの内容等で判断している」が 100.0%であった。(n=1 のため参考値)

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	全ての児童を受け入れている	医療的ケアの内容等で判断している	全て断っている	無回答
全体		1	0.0	100.0	0.0	0.0
施設種別	保育園・幼稚園	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑬ 受け入れが困難なケアの内容

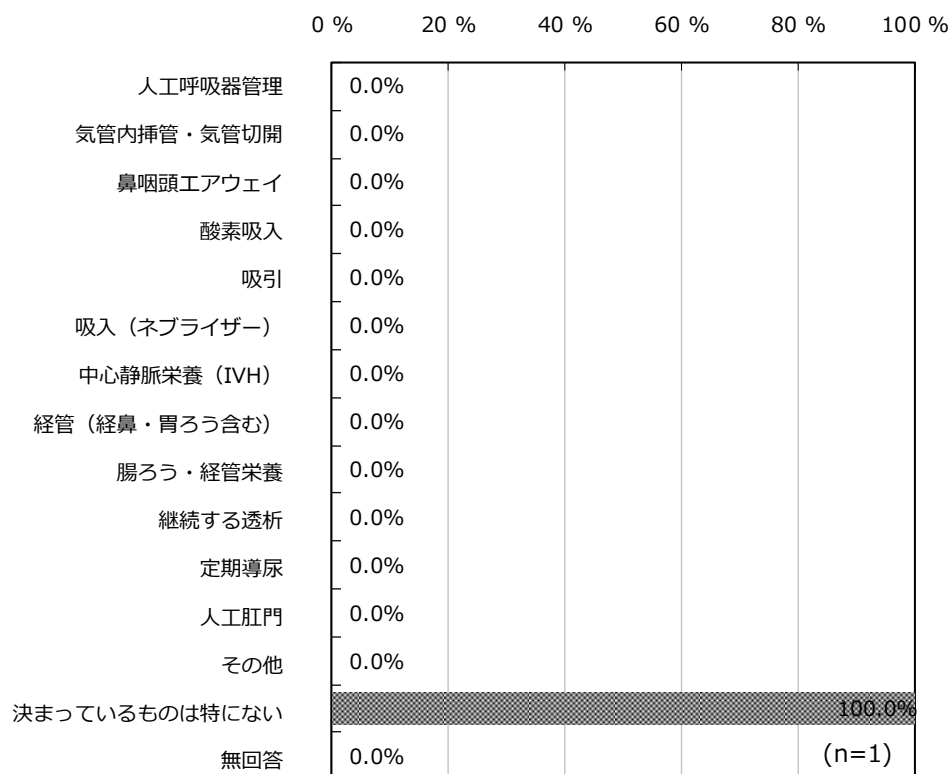
【問 15 で「2. 医療的ケアの内容等で判断している」を選択した方にお伺いします】

問 16. 受け入れが困難なケアの内容について、あてはまるものをお選びください。

(あてはまるもの全てに○)

受け入れが困難なケアの内容としては、「決まっているものは特にない」が 100.0%であった。
(n=1 のため参考値)

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	人工呼吸器管理	気管内挿管・気管切開	鼻咽頭工アウェイ	酸素吸入	吸引	吸入（ネブライザー）	中心静脈栄養（IVH）	経管（経鼻・胃ろう含む）	腸ろう・経管栄養	継続する透析	定期導尿	人工肛門	その他	決まっているものは特にない	無回答
全体		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

3. 専門機関との連携状況

① 連携している専門機関

【改めて全ての方にお伺いします】

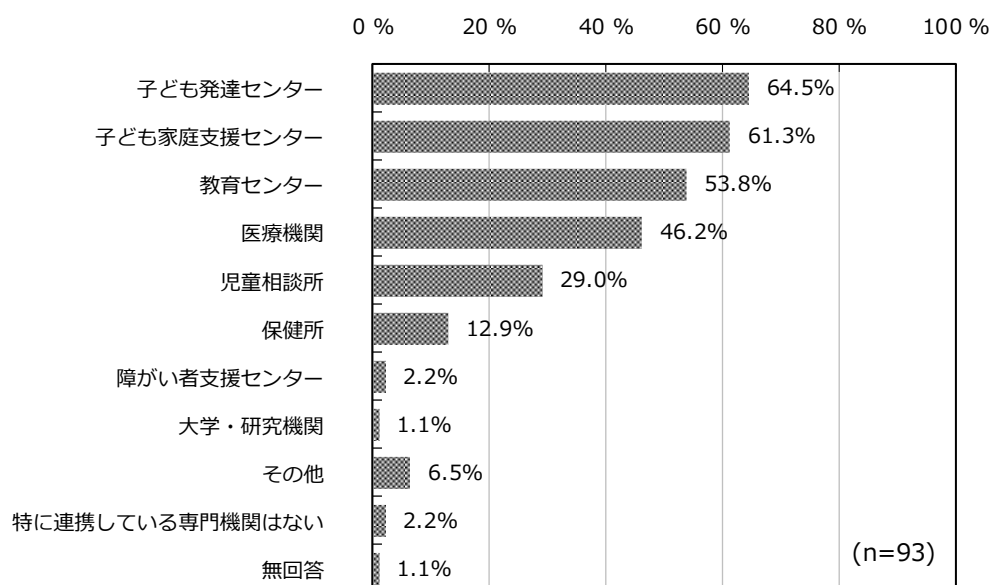
問 17. 発達の遅れや障がいがある児童・生徒への対応について貴施設ではどのような専門機関と連携していますか。
(あてはまるもの全てに○)

連携している専門機関について、全体でみると「子ども発達センター」が 64.5%と最も高く、次いで「子ども家庭支援センター」が 61.3%、「教育センター」が 53.8%であった。

施設種別でみると、『保育園・幼稚園』では「子ども発達センター」が 92.9%、『小学校』では「教育センター」が 100.0%、『中学校』では「子ども家庭支援センター」が 92.9%とそれぞれ最も高かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「子ども発達センター」「子ども家庭支援センター」「医療機関」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	子ども発達センター	子ども家庭支援センター	教育センター	医療機関	児童相談所	保健所	障がい者支援センター	大学・研究機関	その他	特に連携している専門機関はない	無回答
全体		93	64.5	61.3	53.8	46.2	29.0	12.9	2.2	1.1	6.5	2.2	1.1
施設 種別	保育園・幼稚園	56	92.9	50.0	26.8	35.7	10.7	21.4	3.6	1.8	8.9	1.8	1.8
	小学校	23	26.1	69.6	100.0	60.9	52.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	14	14.3	92.9	85.7	64.3	64.3	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	69.0	66.7	54.8	52.4	28.6	14.3	4.8	2.4	7.1	0.0	2.4
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	59.1	56.8	52.3	40.9	31.8	11.4	0.0	0.0	6.8	4.5	0.0
	気になる子に対する支援を行えていない	5	80.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

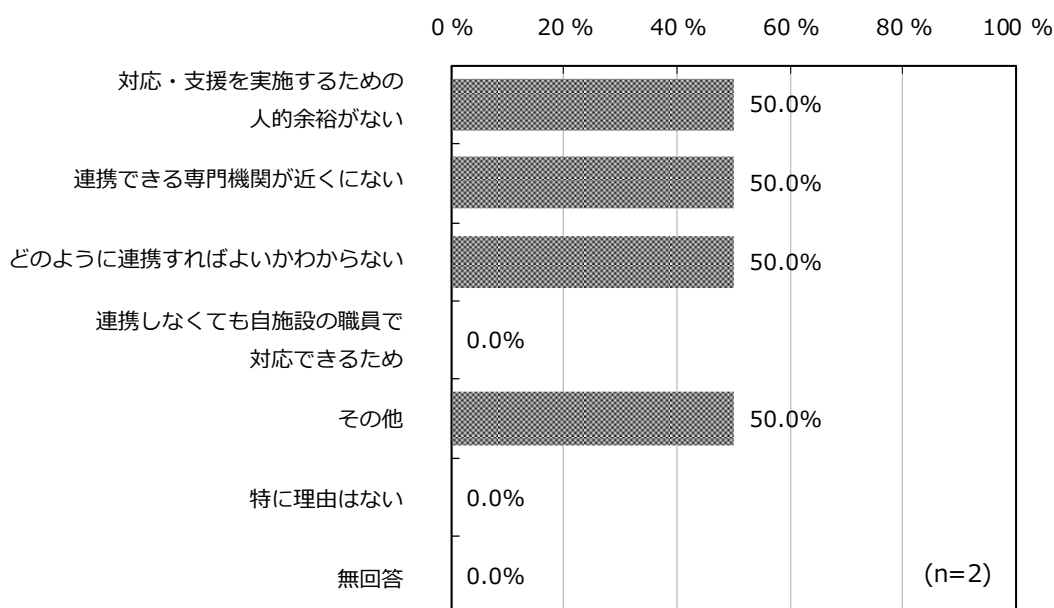
(%)

② 専門機関と連携していない理由

【問 17 で「10. 特に連携している専門機関はない」と回答した方にお伺いします】
 問 18. 専門機関と連携していない理由として、あてはまるものをお選びください。
 （あてはまるもの全てに○）

「対応・支援を実施するための人的余裕がない」・「連携できる専門機関が近くにない」・「どのように連携すればよいかわからない」が 50.0%で、「連携しなくても自施設の職員で対応できるため」は 0.0%であった。（n=2 のため参考値）

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	な い	対 応 ・ 支 援 を 実 施 す る た め の 人 的 余 裕 が	連 携 で き る 専 門 機 関 が 近 く に あ り ま す	ど の よ う に 連 携 す れ ば よ い か わ か ら な い	連 携 し な く て も 自 施 設 の 職 員 で 対 応 で き る	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体		2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
施設 種別	保育園・幼稚園	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学校	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	支援を行っているのは一部の子もだけ	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

③ 専門機関と連携の際に最も必要だと思うもの

【改めて全ての方にお伺いします】

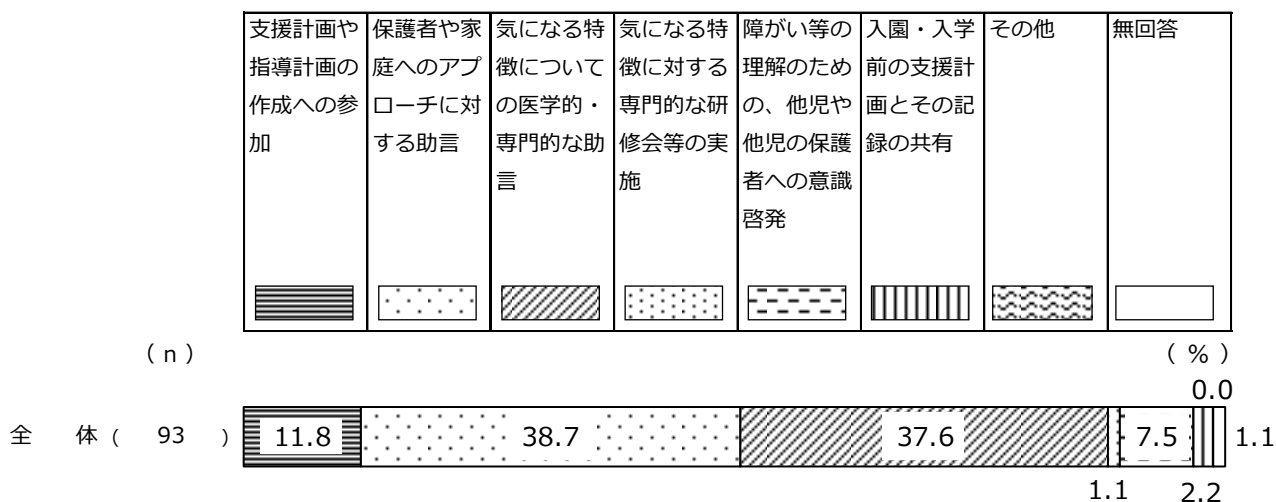
問 19. 専門機関と連携する際に、どのような連携が必要だと思いますか。最も重要だと思うものをお選びください。(○は一つだけ)

専門機関と連携の際に最も必要だと思うものにおいて、全体としては「保護者や家庭へのアプローチに対する助言」が 38.7%と最も高く、次いで「気になる特徴についての医学的・専門的な助言」が 37.6%であった。

施設種別でみると、『小学校』は「気になる特徴についての医学的・専門的な助言」、『中学校』は「支援計画や指導計画の作成への参加」の割合が他の種別よりそれぞれ高かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「保護者や家庭へのアプローチに対する助言」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	支援計画や指導計画の作成への参加	対する助言	保護者や家庭へのアプローチに	医学的・専門的な助言	気になる特徴についての実施	専門的な研修会等	気になる特徴に対する	他児や他児の保護者への意識啓発	障がい等の理解のための	その記録の共有	入園・入学前の支援計画と	その他	無回答
全体	93	11.8	38.7	37.6	1.1	7.5	2.2	0.0	1.1	(%)				
施設種別	保育園・幼稚園	56	10.7	42.9	35.7	1.8	3.6	3.6	0.0	0.0	1.8			
	小学校	23	4.3	30.4	52.2	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0				
	中学校	14	28.6	35.7	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0				
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	9.5	42.9	40.5	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4				
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	13.6	34.1	36.4	0.0	11.4	4.5	0.0	0.0				
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

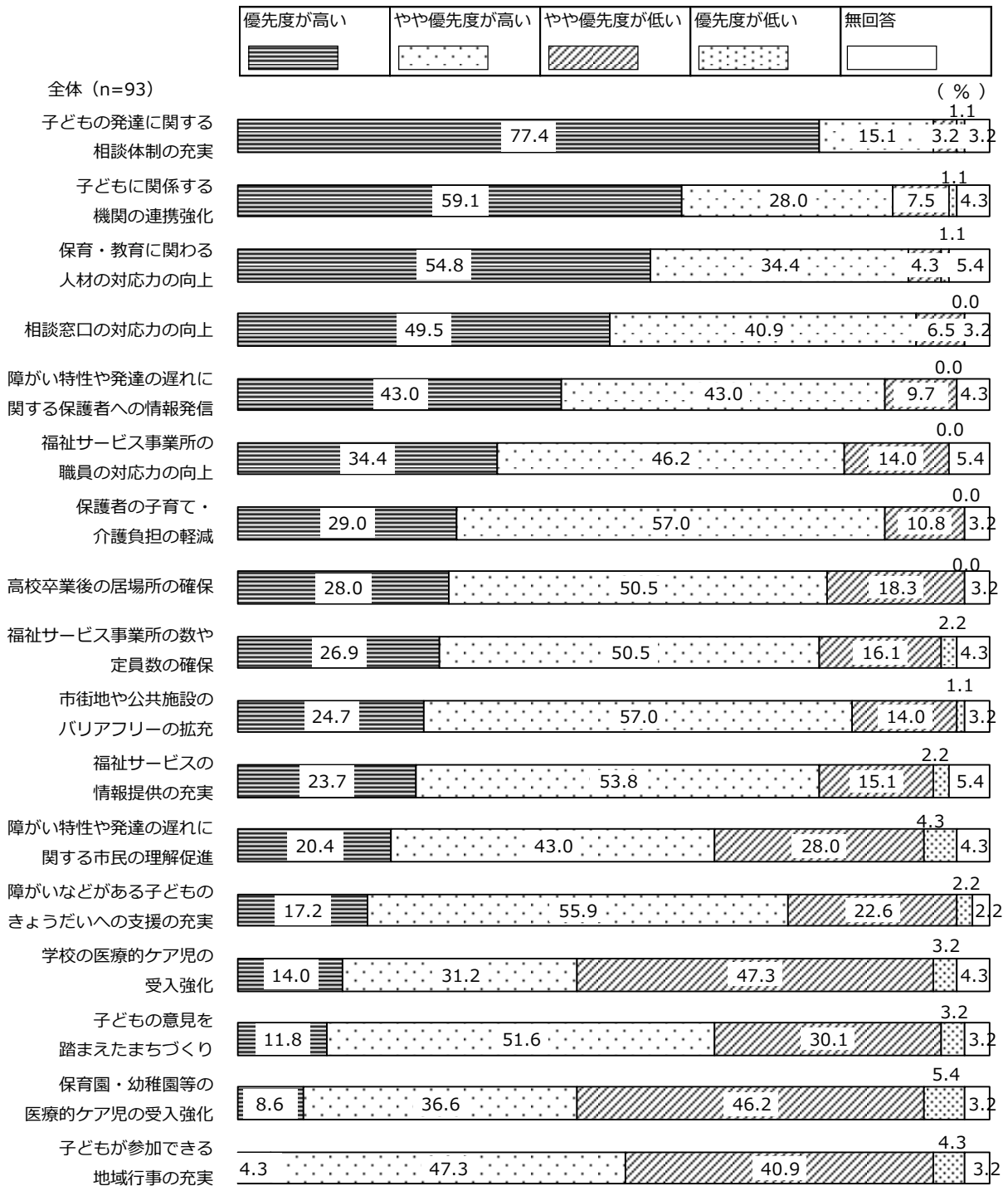
4. 調査問共通設問

① 今後の町田市の障がい児施策優先度（全体）

【改めて全ての方にお伺いします】

問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

今後の町田市の障がい児施策として、「優先度が高い」施策は「子どもに発達に関する相談体制の充実」が74.4%と最も高く、次いで「子どもに関係する機関の連携強化」が59.1%であった。



※項目名は、調査票提示順ではなく「優先度が高い」の割合が高い順に並び替え

② 今後の町田市の障がい児施策優先度
（福祉サービスの情報提供の充実）

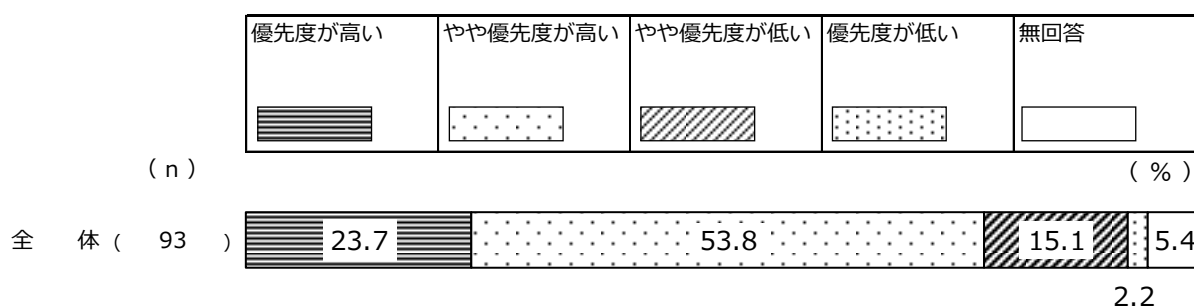
【改めて全ての方にお伺いします】

問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「福祉サービスの情報提供の充実」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が 23.7%、「やや優先度が高い」が 53.8%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。支援体制別にみても、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	23.7	53.8	15.1	2.2	5.4
施設 種別	保育園・幼稚園	56	30.4	48.2	14.3	0.0	7.1
	小学校	23	13.0	60.9	17.4	8.7	0.0
	中学校	14	14.3	64.3	14.3	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	28.6	50.0	16.7	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	22.7	50.0	15.9	4.5	6.8
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

③ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (子どもの発達に関する相談体制の充実)

【改めて全ての方にお伺いします】

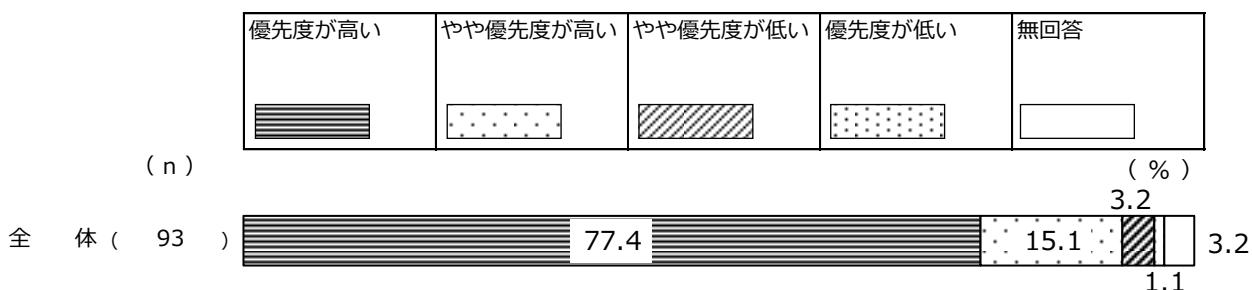
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「子どもの発達に関する相談体制の充実」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が77.4%、「やや優先度が高い」が15.1%であった。

施設種別にみると、『中学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	77.4	15.1	3.2	1.1	3.2 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	75.0	16.1	3.6	1.8	3.6
	小学校	23	78.3	17.4	4.3	0.0	0.0
	中学校	14	85.7	7.1	0.0	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	83.3	4.8	4.8	2.4	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	72.7	22.7	2.3	0.0	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0

④ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（相談窓口の対応力の向上）

【改めて全ての方にお伺いします】

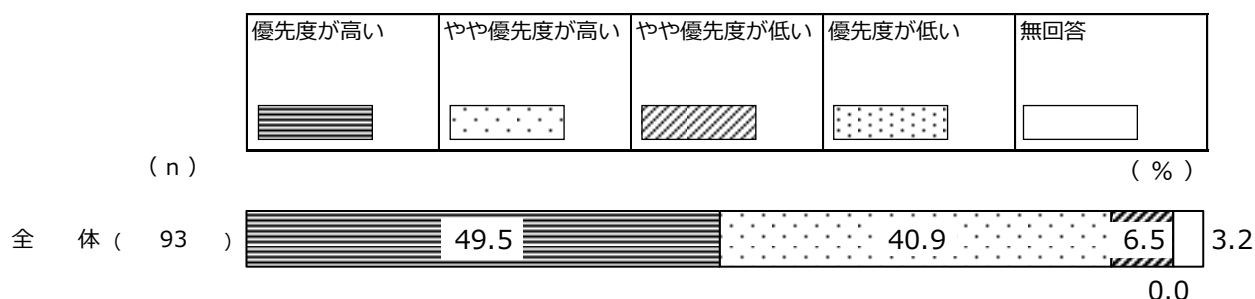
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「相談窓口の対応力の向上」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が49.5%、「やや優先度が高い」が40.9%であった。

施設種別にみると、『中学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	49.5	40.9	6.5	0.0	3.2 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	46.4	41.1	8.9	0.0	3.6
	小学校	23	43.5	52.2	4.3	0.0	0.0
	中学校	14	71.4	21.4	0.0	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	47.6	38.1	9.5	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	54.5	40.9	2.3	0.0	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0

⑤ 今後の町田市の障がい児施策優先度

(障がい特性や発達の遅れに関する市民の理解促進)

【改めて全ての方にお伺いします】

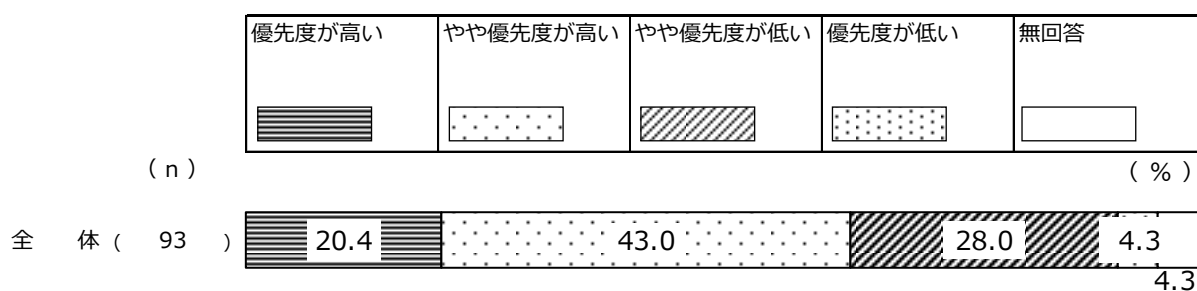
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「障がい特性や発達の遅れに関する市民の理解促進」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が20.4%、「やや優先度が高い」が43.0%であった。

施設種別にみると、『小学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみて、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	優先度が高い	やや優先度が高い	やや優先度が低い	優先度が低い	無回答
全体		93	20.4	43.0	28.0	4.3	4.3
施設種別	保育園・幼稚園	56	16.1	41.1	35.7	1.8	5.4
	小学校	23	39.1	52.2	8.7	0.0	0.0
	中学校	14	7.1	35.7	28.6	21.4	7.1
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	19.0	42.9	28.6	2.4	7.1
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	22.7	43.2	25.0	6.8	2.3
	気になる子に対する支援を行えていない	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0

⑥ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (障がい特性や発達の遅れに関する保護者への情報発信)

【改めて全ての方にお伺いします】

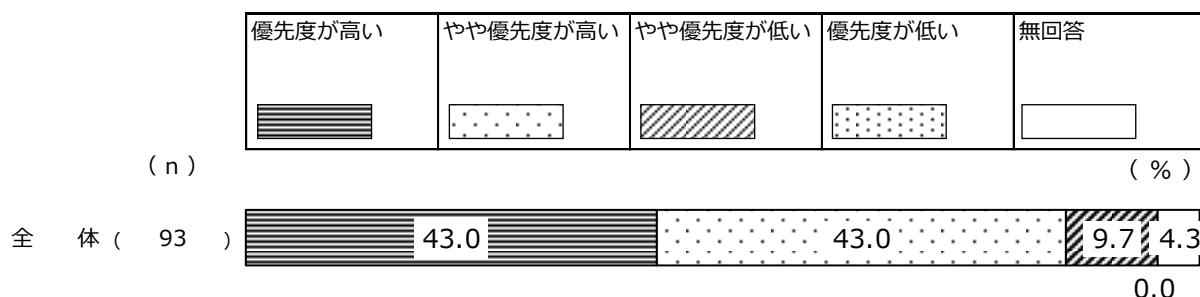
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「相談窓口の対応力の向上」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」「やや優先度が高い」ともに43.0%であった。

施設種別にみると、『中学校』は他の施設よりも「優先度が高いの割合」が低かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	43.0	43.0	9.7	0.0	4.3 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	44.6	39.3	10.7	0.0	5.4
	小学校	23	47.8	47.8	4.3	0.0	0.0
	中学校	14	28.6	50.0	14.3	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	33.3	40.5	16.7	0.0	9.5
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	50.0	47.7	2.3	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0

⑦ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (保育・教育に関わる人材の対応力の向上)

【改めて全ての方にお伺いします】

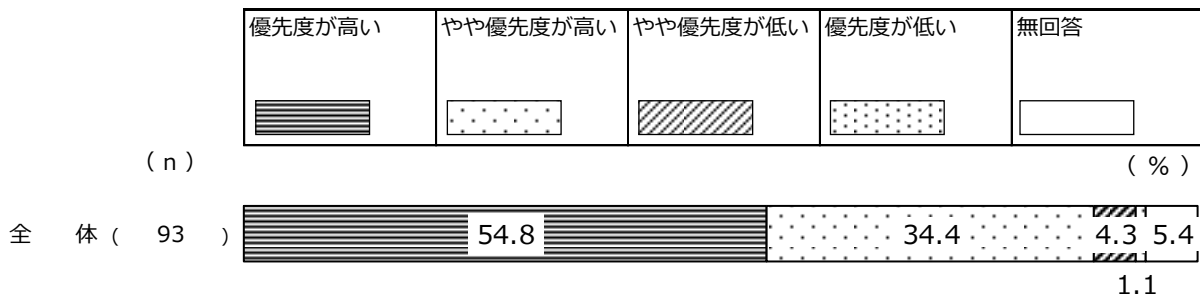
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「保育・教育に関わる人材の対応力の向上」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が54.8%、「やや優先度が高い」が34.4%であった。

施設種別にみると、『小学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	54.8	34.4	4.3	1.1	5.4
施設 種別	保育園・幼稚園	56	50.0	39.3	5.4	0.0	5.4
	小学校	23	69.6	26.1	4.3	0.0	0.0
	中学校	14	50.0	28.6	0.0	7.1	14.3
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	52.4	33.3	7.1	0.0	7.1
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	56.8	34.1	2.3	2.3	4.5
	気になる子に対する支援を行っていない	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0

⑧ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（保育園・幼稚園等の医療的ケア児の受入強化）

【改めて全ての方にお伺いします】

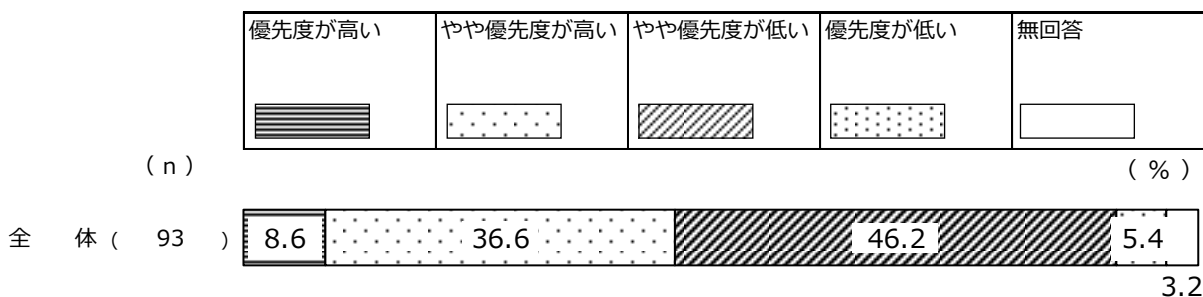
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「保育園・幼稚園等の医療的ケア児の受入強化」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が8.6%、「やや優先度が高い」が36.6%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「やや優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	優先度が高い	やや優先度が高い	やや優先度が低い	優先度が低い	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	93	8.6	36.6	46.2	5.4	3.2	
施設種別	保育園・幼稚園	10.7	39.3	41.1	5.4	3.6	
	小学校	0.0	34.8	56.5	8.7	0.0	
	中学校	14.3	28.6	50.0	0.0	7.1	
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	11.9	35.7	42.9	4.8	4.8	
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	6.8	34.1	50.0	6.8	2.3
	気になる子に対する支援を行えていない	5	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0

⑨ 今後の町田市の障がい児施策優先度
(学校の医療的ケア児の受入強化)

【改めて全ての方にお伺いします】

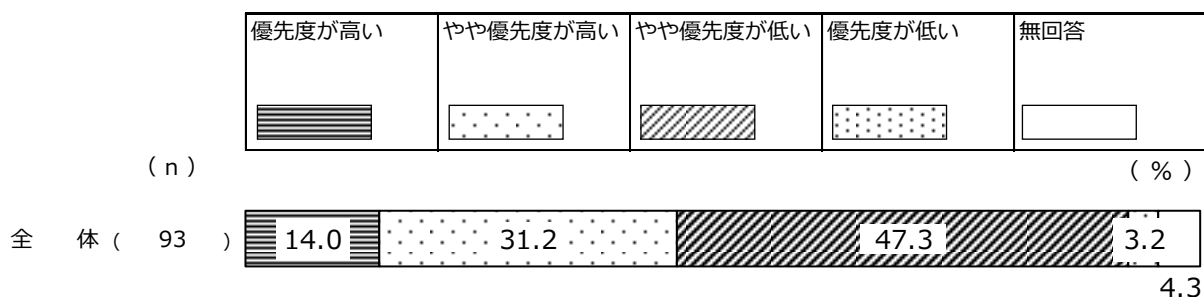
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「学校の医療的ケア児の受入強化」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が 14.0%、「やや優先度が高い」が 31.2%であった。

施設種別にみると、『小学校』『中学校』は『保育園・幼稚園』よりも「やや優先度が低い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	14.0	31.2	47.3	3.2	4.3 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	16.1	39.3	37.5	1.8	5.4
	小学校	23	8.7	21.7	60.9	8.7	0.0
	中学校	14	14.3	14.3	64.3	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	21.4	31.0	38.1	2.4	7.1
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	9.1	31.8	52.3	4.5	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0

⑩ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（福祉サービス事業所の数や定員数の確保）

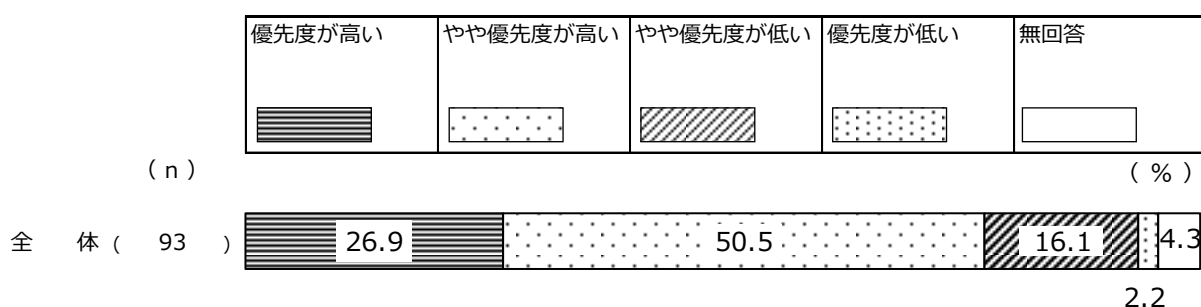
【改めて全ての方にお伺いします】

問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「福祉サービス事業所の数や定員数の確保」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が26.9%、「やや優先度が高い」が50.5%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。支援体制別にみても、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	26.9	50.5	16.1	2.2	4.3
施設 種別	保育園・幼稚園	56	30.4	44.6	17.9	1.8	5.4
	小学校	23	21.7	56.5	17.4	4.3	0.0
	中学校	14	21.4	64.3	7.1	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	26.2	50.0	14.3	2.4	7.1
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	29.5	50.0	15.9	2.3	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0

⑪ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (福祉サービス事業所の職員の対応力の向上)

【改めて全ての方にお伺いします】

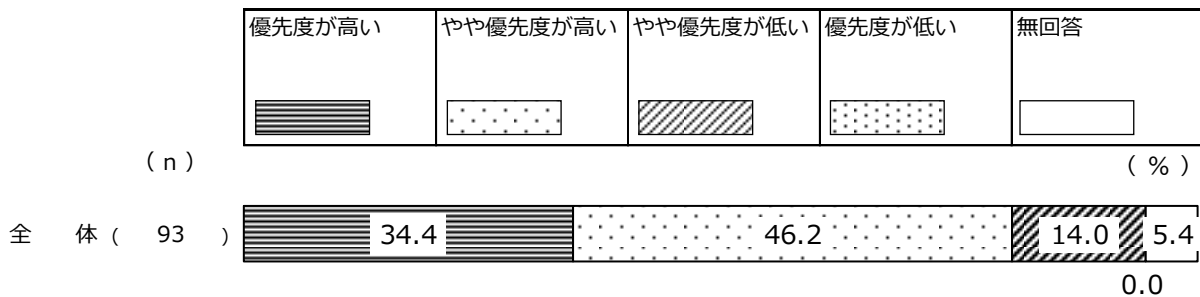
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「福祉サービス事業所の職員の対応力の向上」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が34.4%、「やや優先度が高い」が46.2%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	34.4	46.2	14.0	0.0	5.4
施設 種別	保育園・幼稚園	56	39.3	46.4	8.9	0.0	5.4
	小学校	23	30.4	47.8	17.4	0.0	4.3
	中学校	14	21.4	42.9	28.6	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	26.2	47.6	19.0	0.0	7.1
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	45.5	38.6	11.4	0.0	4.5
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0

⑫ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（子どもに関係する機関の連携強化）

【改めて全ての方にお伺いします】

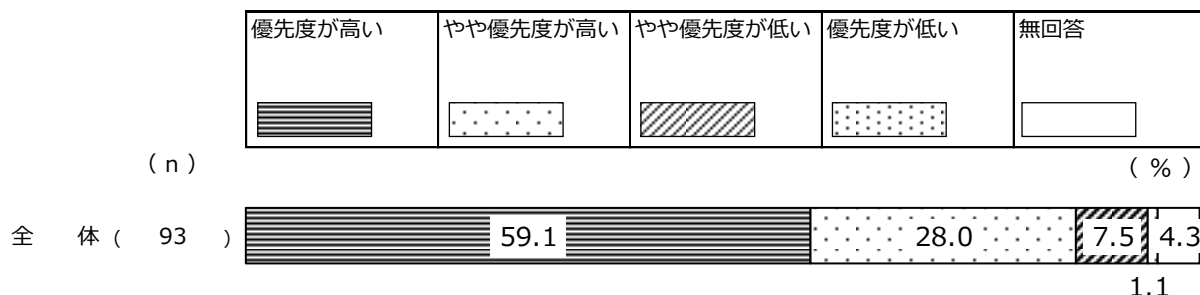
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「子どもに関係する機関の連携強化」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が59.1%、「やや優先度が高い」が28.0%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回答数	優先度が高い	やや優先度が高い	やや優先度が低い	優先度が低い	無回答
全体		93	59.1	28.0	7.5	1.1	4.3 (%)
施設種別	保育園・幼稚園	56	62.5	30.4	1.8	1.8	3.6
	小学校	23	52.2	26.1	17.4	0.0	4.3
	中学校	14	57.1	21.4	14.3	0.0	7.1
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	57.1	28.6	7.1	2.4	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	63.6	22.7	9.1	0.0	4.5
	気になる子に対する支援を行えていない	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0

⑬ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (高校卒業後の居場所の確保)

【改めて全ての方にお伺いします】

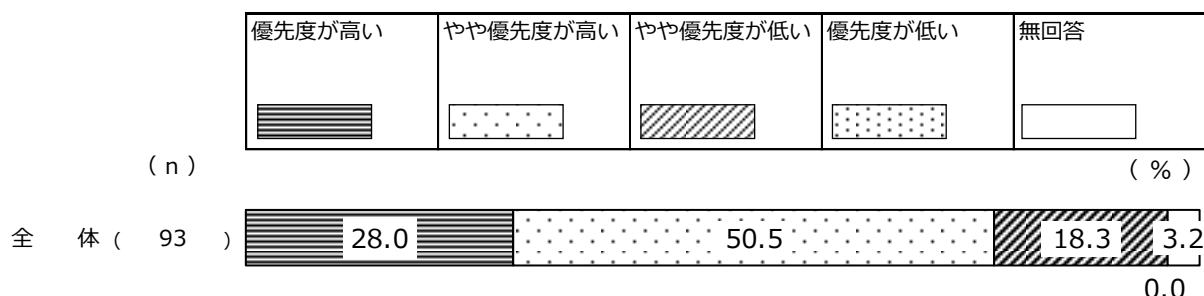
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「高校卒業後の居場所の確保」の施策について、全体で見ると「優先度が高い」が28.0%、「やや優先度が高い」が50.5%であった。

施設種別にみると、『中学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	28.0	50.5	18.3	0.0	3.2
施設 種別	保育園・幼稚園	56	25.0	53.6	16.1	0.0	5.4
	小学校	23	21.7	65.2	13.0	0.0	0.0
	中学校	14	50.0	14.3	35.7	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	28.6	40.5	23.8	0.0	7.1
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	31.8	56.8	11.4	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0

⑭ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（保護者の子育て・介護負担の軽減）

【改めて全ての方にお伺いします】

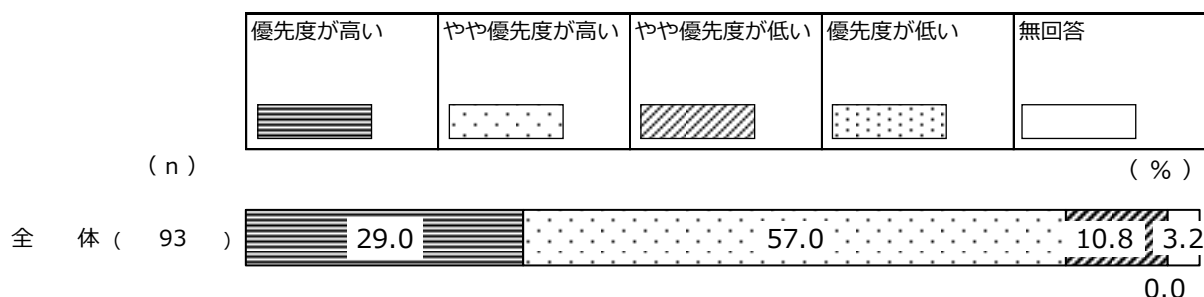
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「保護者の子育て・介護負担の軽減」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が29.0%、「やや優先度が高い」が57.0%であった。

施設種別にみると、『小学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が低かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	29.0	57.0	10.8	0.0	3.2 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	30.4	57.1	7.1	0.0	5.4
	小学校	23	21.7	60.9	17.4	0.0	0.0
	中学校	14	35.7	50.0	14.3	0.0	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	35.7	42.9	16.7	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	27.3	63.6	6.8	0.0	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

⑮ 今後の町田市の障がい児施策優先度

(障がいなどがある子どものきょうだいへの支援の充実)

【改めて全ての方にお伺いします】

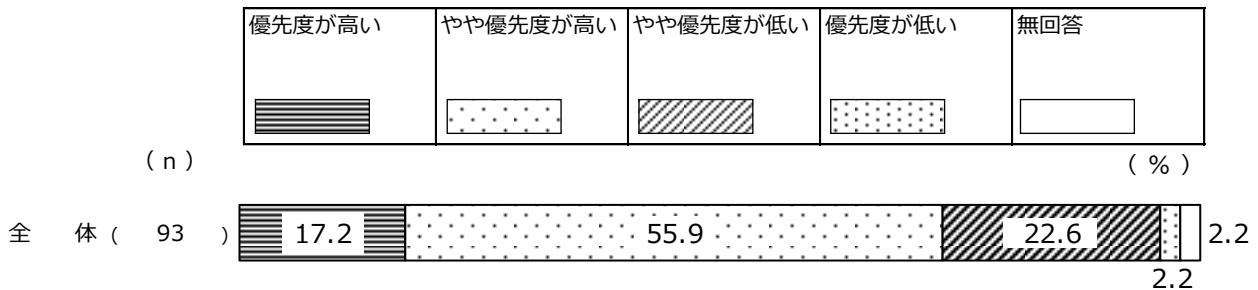
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「障がいなどがある子どものきょうだいへの支援の充実」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が17.2%、「やや優先度が高い」が55.9%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「やや優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	17.2	55.9	22.6	2.2	2.2
施設 種別	保育園・幼稚園	56	23.2	57.1	14.3	1.8	3.6
	小学校	23	4.3	56.5	39.1	0.0	0.0
	中学校	14	14.3	50.0	28.6	7.1	0.0
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	19.0	57.1	16.7	2.4	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	18.2	47.7	31.8	2.3	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

⑩ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（子どもが参加できる地域行事の充実）

【改めて全ての方にお伺いします】

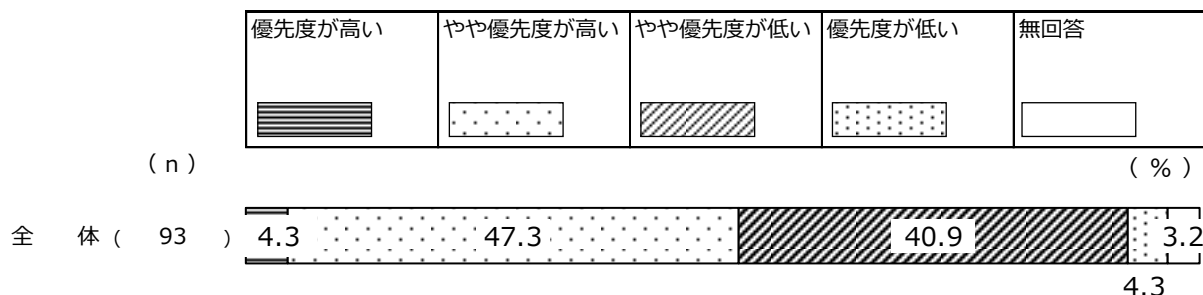
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「子どもが参加できる地域行事の充実」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が4.3%、「やや優先度が高い」が47.3%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」「やや優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみても、傾向の違いはみられなかった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	優先度					
		優先度が高い	やや優先度が高い	やや優先度が低い	優先度が低い	無回答	
全体	93	4.3	47.3	40.9	4.3	3.2 (%)	
施設種別	保育園・幼稚園	56	7.1	51.8	33.9	3.6	3.6
	小学校	23	0.0	43.5	56.5	0.0	0.0
	中学校	14	0.0	35.7	42.9	14.3	7.1
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	4.8	47.6	40.5	2.4	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	4.5	43.2	43.2	6.8	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0

⑰ 今後の町田市の障がい児施策優先度
 (市街地や公共施設のバリアフリーの拡充)

【改めて全ての方にお伺いします】

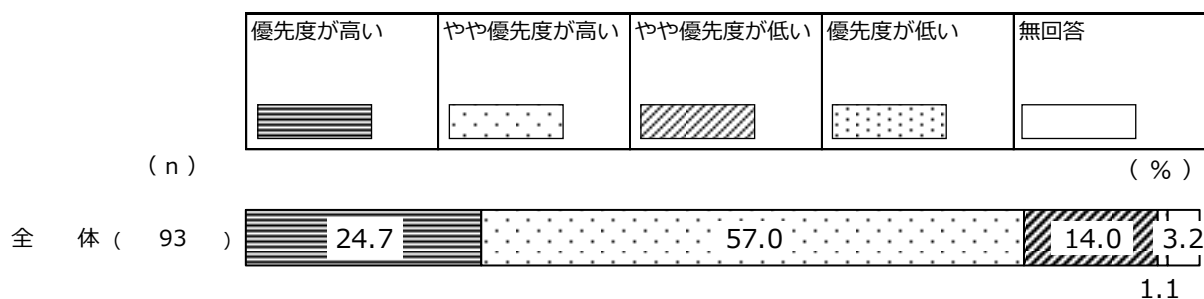
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。(〇はそれぞれに一つずつ)

「市街地や公共施設のバリアフリーの拡充」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が24.7%、「やや優先度が高い」が57.0%であった。

施設種別にみると、『中学校』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『支援を行っているのは一部の子どもだけ』は『全ての気になる子に支援を行っている』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	24.7	57.0	14.0	1.1	3.2
施設 種別	保育園・幼稚園	56	25.0	57.1	12.5	1.8	3.6
	小学校	23	13.0	65.2	21.7	0.0	0.0
	中学校	14	42.9	42.9	7.1	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	19.0	57.1	19.0	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	27.3	59.1	9.1	2.3	2.3
	気になる子に対する支援を行えていない	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0

⑱ 今後の町田市の障がい児施策優先度
（子どもの意見を踏まえたまちづくり）

【改めて全ての方にお伺いします】

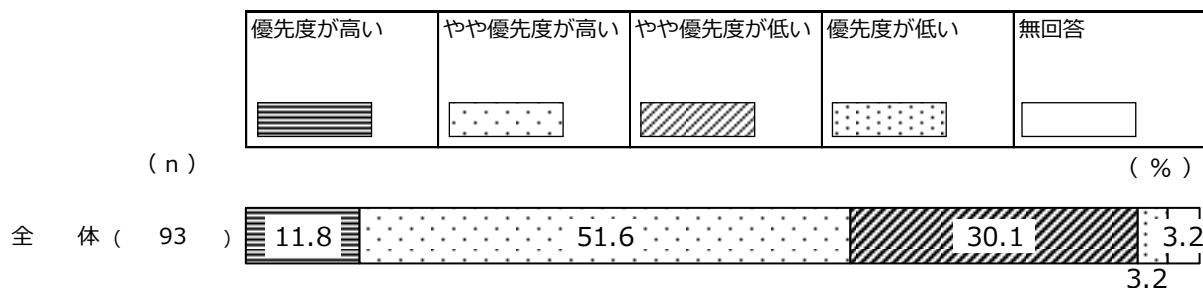
問 20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。（○はそれぞれに一つずつ）

「子どもの意見を踏まえたまちづくり」の施策について、全体でみると「優先度が高い」が11.8%、「やや優先度が高い」が51.6%であった。

施設種別にみると、『保育園・幼稚園』は他の施設よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

支援体制別にみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「優先度が高い」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

		回 答 数	優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 高 い	や や 優 先 度 が 低 い	優 先 度 が 低 い	無 回 答
全体		93	11.8	51.6	30.1	3.2	3.2 (%)
施設 種別	保育園・幼稚園	56	19.6	55.4	21.4	0.0	3.6
	小学校	23	0.0	43.5	43.5	13.0	0.0
	中学校	14	0.0	50.0	42.9	0.0	7.1
支援 体制 別	全ての気になる子に支援を行っている	42	16.7	52.4	26.2	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子どもだけ	44	6.8	47.7	36.4	6.8	2.3
	気になる子に対する支援を行っていない	5	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0

⑱ 複合化後の子ども発達センターに求めること

【改めて全ての方にお伺いします】

問 21. 「子ども発達センター」は、2028 年度以降に現在の「教育センター」（町田市木曽東 3-1-3）の敷地内に設置を予定している複合施設（（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設）へ移転する予定です。複合化された後の「子ども発達センター」に求めるものについてあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの全てに○）

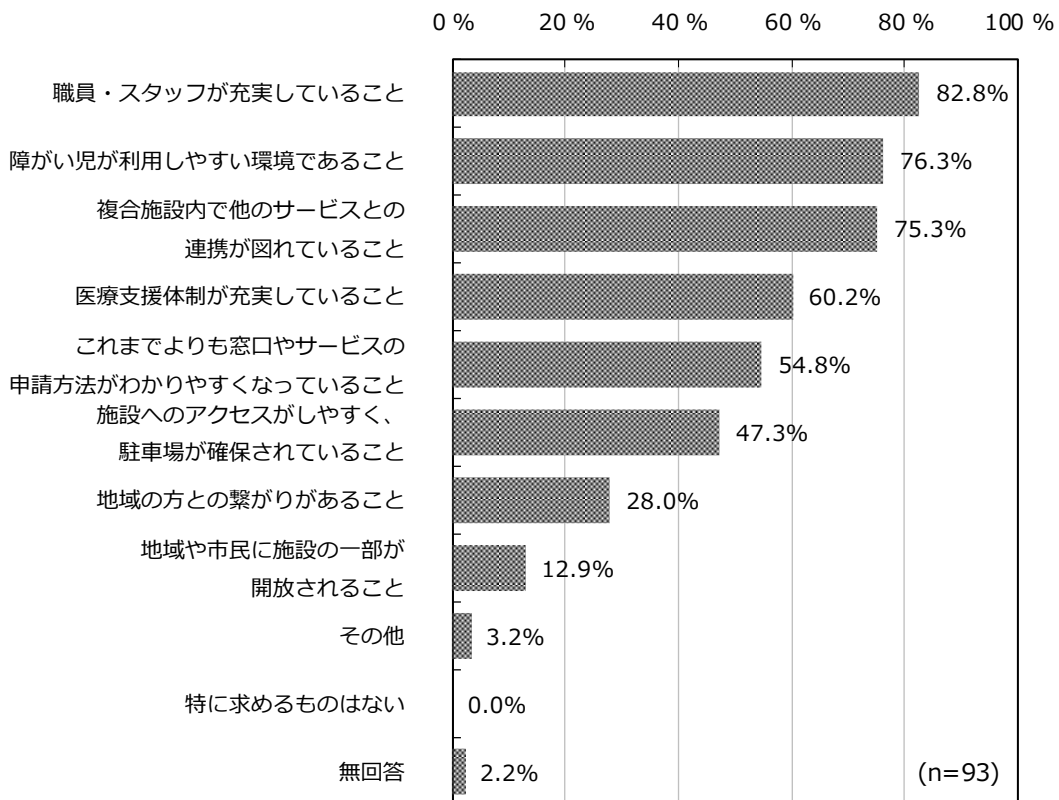
※運営は民間活力の導入を予定しています。

専門機関と連携の際に最も必要だと思うものにおいて、全体としては「職員・スタッフが充実していること」が 82.8%と最も高く、次いで「障がい児が利用しやすい環境であること」が 76.3%であった。

施設種別でみると、『小学校』は他の種別よりも「これまでよりも窓口やサービスの申請方法がわかりやすくなっていること」の割合が高く、「施設へのアクセスがしやすく、駐車場が確保されていること」の割合が低かった。

支援体制別でみると、『全ての気になる子に支援を行っている』は『支援を行っているのは一部の子どもだけ』よりも「医療支援体制が充実していること」の割合が高かった。

【単純集計】



【クロス集計】

	回答数	職員・スタッフが充実していること	障がい児が利用しやすい環境であること	複合施設内で他のサービスとの連携が図れていること	医療支援体制が充実していること	法がわかりやすくも窓口やサービスの申請方法が	確保されていること	施設へのアクセスがしやすく、駐車場の確保されていること	地域の方との繋がりがあること	と地域や市民に施設の一部が開放されること	その他	特に求めるものはない	無回答
全体	93	82.8	76.3	75.3	60.2	54.8	47.3	28.0	12.9	3.2	0.0	2.2	(%)
施設種別	保育園・幼稚園	56	78.6	85.7	76.8	64.3	53.6	55.4	32.1	16.1	5.4	0.0	3.6
	小学校	23	82.6	52.2	69.6	47.8	69.6	17.4	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0
	中学校	14	100.0	78.6	78.6	64.3	35.7	64.3	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0
支援体制別	全ての気になる子に支援を行っている	42	81.0	76.2	78.6	71.4	57.1	52.4	40.5	19.0	7.1	0.0	4.8
	支援を行っているのは一部の子もだけ	44	84.1	75.0	75.0	52.3	52.3	40.9	15.9	4.5	0.0	0.0	0.0
	気になる子に対する支援を行っていない	5	80.0	80.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0

5. 保育・教育等で工夫していることやご意見・ご要望

問 22. 発達の遅れや障がいがある児童・生徒の保育・教育等で工夫していることやご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

自由意見	44 件
支援・援助について	20 件
関係機関との連携について	17 件
人材の確保・質の向上について	11 件
行政について	9 件
相談窓口について	7 件
その他	3 件

※ 1つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見 (一部抜粋)

【支援・援助について】

- 情報交換を常に行い、学校全体・組織で対応している。
- 一人一人の特性に合った対応を心がけている。集団が苦手なお子さんの対応については、試行錯誤しながらではあるが、そのお子さんができるだけ落ち着いて過ごせるようクールダウンできる場所を作ったりしている。
- 園全体で児のことを共有し、関わり方を統一している。
- 保護者自身にも発達に課題があると思われるケースへの対応が難しいです。
- 保護者さんの気持ちに寄り添って援助していく。

【関係機関との連携について】

- 教育委員会と連携して、学校での支援体制の拡充を図っていただきたい。
- 発達センターへの相談に繋げても、予約がなかなか取れないなどで対応が遅れがち。すぐに対応できる体制をお願いしたいです。
- 療育機関や保護者と連携をできるようにしているが、療育機関と情報共有することが難しく感じ、保護者を介しての情報共有だと、保護者の考えや思いが入ってしまっていると思われる事がある。療育機関と保育施設側がもっと密になり、話し合ったり伝えあったりしていきたい。

【人材の確保・質の向上について】

- 保護者や生徒に直接対応する人材の対応力について、今後も向上させていくことが課題であるとともに、人員数の増加など、人的配置にも力を入れていただきたいです。
- 正規の職員だけでは十分な支援が行えない。正規の職員数を増やすか会計年度職員など配置するかなどの人的支援が必要である。
- 人的補助の充実を望む。